

詐欺に合わないようするために

(両面あります)

新子安南部町内会 IT 部
令和7年 5 月回覧用



オレオレ詐欺以降も相変わらず詐欺の話題がニュースとして毎日報道されます。減るところかありとあらゆる技法がとられて増えています。詐欺に合わないよう以下のように注意しましょう。面倒でも以下の事に注意してください。分らない事があれば町内会に問い合わせを！

■ SMS メール：携帯電話の通信回線を使って送ってくる詐欺メール。

- ➡行政（警察含む）からの連絡は絶対にありません。
- ➡金融機関（カード含む）からの連絡は絶対にありません。（会員登録メンバー除く）
- ➡運送会社からの連絡は絶対にありません。（会員登録メンバー除く）
- ➡通販会社からの連絡は絶対にありません。（会員登録メンバー除く）

どれも本当に必要で関係あれば手紙を送ってきます。

見たらすぐに削除か迷惑メッセージとして登録しブロックしましょう。

■ 携帯電話に相手が分らない電話があった場合の対処方法

➡電話には出ず、切ってからかかってきた番号をコピーし、Yahoo や Google などの検索窓に入力して検索すると、どのような会社からの電話なのかだいたい分ります。最近通信会社の営業や通販の売り込みなどは有線電話だけでなく携帯からの場合もありますが、この検索でどんな電話か分ります。検索結果でも相手先不明であれば出ないようにしましょう。本当に連絡が相手にとって必要であれば、手紙などの手段を使うはずです。

➡カントリーコード（日本は+81と表示されるが普通は出ない）が出てくる電話は、親戚が海外にいる場合を除き、全て詐欺と思って良いです。通常より桁数が多かったら出ない事です。なので相手の電話番号を確かめましょう。

➡自分と関係なければ、スマホで迷惑電話として登録してブロックしましょう。

■ ネットではびこる儲け話

金利が高い、しばらく無料ですとか、何かのプレゼントがもらえるなど、簡単に儲かる話は絶対に「あり得ません」。一度アクセスするとアクセス履歴を使って何度もサイト上に誘導の宣伝が出てきます。こうした情報サイトには、絶対にアクセス（クリックする事）しない事です。

■ 怪しいメールの判別：来たメールのアドレスを必ずチェックしましょう！

正解例： 佐川急便株式会社 <info-nimotsu@sagawa-exp.co.jp>

↓

インチキ <info-nimotsu@sagawaexp.com>

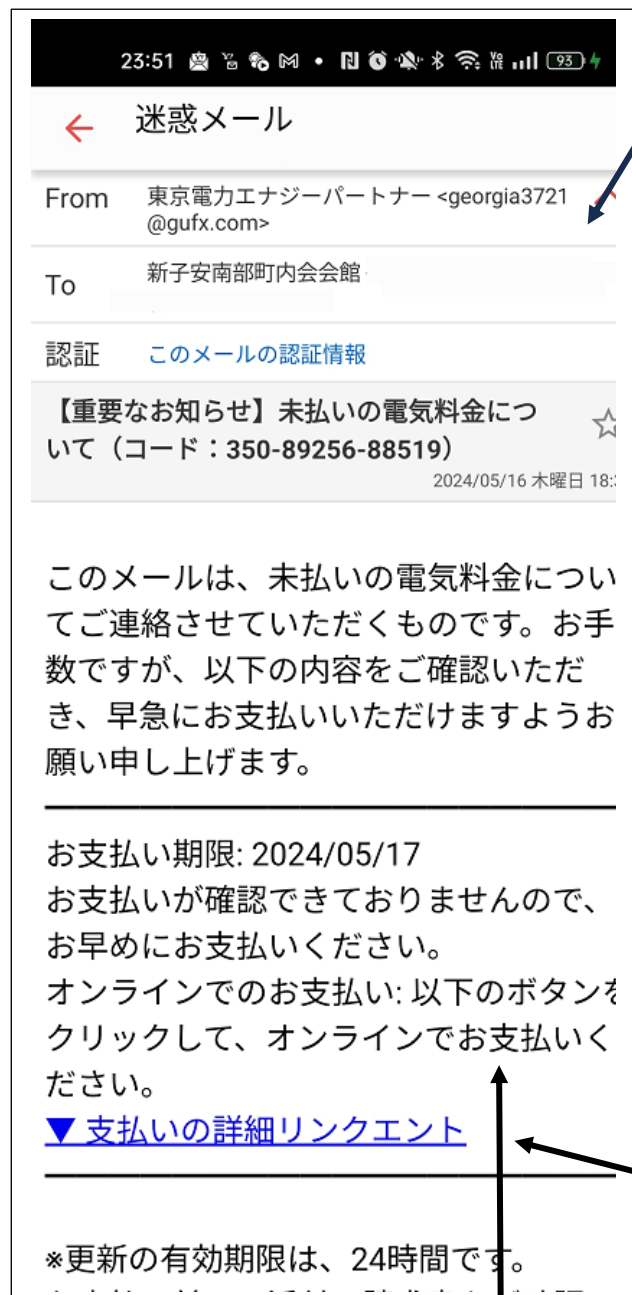
← ↑ 違い分りますか？

@マーク以下の文字列をきちんと読んでみる事です。日本の会社の場合は、

@会社名（英文字）.co.jp もしくは @会社名（英文字）.jp が大半です。

@会社名（英文字）.com は基本的に海外市場で活躍している会社です。送ってきたメールの文面の“てにおは”がおかしいと思ったら（中国から送られているケースが大半）、その会社のホームページを見て比較してみましょう。（次ページに 1 例を示します）

■ 以下は、昨年町内会のメールアカウントに届いた迷惑メールの実例です
良い見本なので、以下のような事があったら必ず良く見て判断してください。



■ アドレスを見る事！

送信者は、「東京電力エナジーパートナー」となっていますが、その次に送信者のアドレスが書かかれています。

これは、<georgia3721@gufx.com>となっており、@マーク以下が、東京電力とは全く違う“ドメイン”となっているのが分ります。（ドメインとは会社名を表す略号）

本当の「東京電力エナジーパートナー」を示す正式な会社のドメイン名は、<tepcoco.jp>となっており全く違う事が分ります。

東京電力は宣伝等で「テプコ：tepcoco」と言っているのを見れば分ると思います。

■ リンクをクリックしない事！

そしてこのブルーのリンクをクリックすると、その動作は送信者に自動的に送られてしまい、同時にアドレスが先方に伝わる他、場合によっては携帯電話に入っている様々な個人情報（カード、銀行の口座番号や場合によってはパスワードなどもありうる）も伝わってしまいます。

そもそも、電気代を支払わないで放っておいてもすぐに切られる事はありません。まずは警告書が家庭に配布されます。ネットで来ることはありません。

■ 文面を見てもおかしいと思う事に気が付く事。

そもそも銀行引き落としならばこんな事はしない。オンラインでの支払いがこのお知らせメールで案内する事も絶対にありえない。文的にも「リンクエントリー」と書くのが普通なのに「リンクエント」となっている。